

クリアカラーの出力について

1. 必要データ



クリアインクにしたい
形状データ



カラーインクにしたい
形状データ

クリアインクとカラーインクを同時使う場合、カラーインク用のデータとクリアインク用のデータを別に用意する必要があります。

2. データ加工



クリアインクの中にカラーインクを入れる場合は、ブーリアンなどでクリアインク形状からカラーインク形状部分を削除してください。



内部にカラークリアのパートとカラーインクのパートを組み合わせる場合は内部パート同士でもブーリアン作業が必要となります。

3. 提出時のデータ状態



2の手順で作成したデータを、希望の出力状態に配置し、マージ等のパート形状を維持した状態でまとめたものをご提出ください。
※結合してしまうと全てカラーインクでの出力になります。

カラーインクパートの着彩については、通常のデータと同じように模様などを作成していただいて問題ありません。

カラークリアについては、クリアインクとのパート分けがされていれば、通常のカラーパートと同じように着彩可能です。
その他ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

注意点

・クリアカラーは出力後に研磨と塗装を行うことで、中のカラー形状が見える素材になります。誠に恐れ入りますが、出力後の研磨・塗装作業については、納品後にご自身での作業をお願いする予定となっております。

メーカーから推奨されているのは下記の通りです。

3Mスponジ研磨剤 5081→5082→5083→5084→5085
塗装 水溶性つやだしニス(和信ペイント)

・ポリゴンの三角数が多いとデータ読み込み時や、出力の際にエラーが生じることがございます。
クリアインクの使用の有無に関わらず、提出の際には可能な限り三角数を減少させたデータにて提出をお願いいたします。

・クリアインク内にカラーパートを配置する場合、配置にズレが生じると出力が実行できなくなります。